

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和7年2月1日発行

12月定例会

No.

123



P 2 12月定例会の概要

P 4 一般質問（10名が登壇）

P 9 委員会審査ズームアップ

P 10 決算特別委員会の審査概要

P 12 市民と語る会開催報告

編集後記

○表紙の写真 大日堂舞楽 鳥舞（とりまい）

「だんぶり長者物語」の夫婦が飼育していた鶏が遊ぶ様を舞にしたものと伝えられています。

1 2月定例会

鹿角市ハラスメント防止に

関する条例制定案などを可決

12月定例会

主な議案の審議内容

鹿角市ハラスメント防止に関する条例の制定について

質問 ハラスメント相談員の職員と外部人材の割合は。

答弁 ハラスメント相談員については規則で定めることとしており、総務課の職員2名、総務部長が推薦する者3名、職員団体組合が推薦する者2名の全7名を予定している。外部の相談窓口についてもこれまでと同様に継続していく。

質問 審査会は委員3名以内で組織することだが、委員は別で任命するのか。

答弁 審査会の委員については外部の有識者を任命する。

現在、第三者委員会では弁護士3名に依頼

しているが、必ずしも弁護士ということではなく、その時々判断で様々な有識者の方3名を任命することを想定している。

動議

12月定例会最終日に
おいて、議員より動議
が提出されました。
○戸田議員の一般質問
に対する市長答弁に
対する緊急質問の動議
提出者 児玉悦朗議員

質問 市長の発言に対し
て副市長、教育長
の認識は間逆のもので
ある。

職員による事実の隠
ぺい・文書の改ざんが
行われていたことが事
実であれば、法律違反
にもなりかねない案件
だと思われるが、発言
の根拠は。

答弁 令和元年6月の市
長室でのメモと11
件の同額入札の資料を
含めて根拠としてい
る。市長室でのメモと
異なることが、根拠と
なるのではないかと考
えている。

質問 本会議冒頭及び先
ほどの答弁の中で
の謝罪は、今までの発
言は誤りであるため撤
回して謝罪するという
意味か。

答弁 冒頭で発言した内
容は個人名での発
言についての議事録の
削除と市長文書、また
は教育長名の文書の取
り扱いについて、私の
発信により教育委員会
をはじめ関係者の皆様
に誤解を生じさせ、ご
迷惑をおかけしたこと
をお詫びした発言であ
る。

※この動議に関連し、
田村富男議員、戸田芳
孝議員、宮野和秀議員
からも緊急質問の動議
が提出されています。

議会から 関係機関への意見書

12月20日の本会議に
おいて議員より提出さ
れた意見書提出案5件
について、原案可決し
関係機関へ提出してい
ます。

◆安全・安心の医療・
介護実現のため人員増
と処遇改善を求める意
見書

◆政府の責任で医療・
介護施設への支援を拡
充し全てのケア労働者
の賃上げや人員増を求
める意見書

◆介護保険制度の抜本
改善、介護従事者の処
遇改善を国へ求める意
見書

◆18歳までの医療費窓
口負担の無料化を国の
制度として実施を求め
る意見書

◆小・中学校給食費の
無償化について国の制
度として実施を求める
意見書

令和6年12月鹿角市議会定例会 議案賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

議席番号及び議員名 件 名	審議結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	賛成	反対		笹本真司	湯瀬弘充	丸岡孝文	湯瀬誠喜	戸田芳孝	成田哲男	金澤大輔	館花一仁	栗山尚記	児玉悦朗	欠員	黒澤一夫	浅石昌敏	倉岡誠	宮野和秀	兎澤祐一	田村富男	中山一男
議案第70号 令和6年度鹿角市一般会計補正予算(第9号)	10	6	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議長

※ 「○」＝賛成 「●」＝反対
※ 議長は採決には加わりません。

令和6年12月定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
専決処分の報告について(秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について)	報告
専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鹿角市一般会計補正予算(第8号))	承認
指定管理者の指定について(鹿角アメニティパーク、花輪スキー場、鹿角市総合運動公園、かつのパークゴルフ公園)	原案可決
市道路線の認定について	原案可決
市道路線の廃止について	原案可決
鹿角市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	原案可決
鹿角市債権管理条例の制定について	原案可決
督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
令和6年度鹿角市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
令和6年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
令和6年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
令和6年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
令和6年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
鹿角市ハラスメント防止に関する条例の制定について	原案可決
◇議員提出議案	審査結果
鹿角市議会議員政治倫理条例の一部改正について	原案可決
鹿角市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
鹿角市議会会議規則の一部改正について	原案可決
鹿角市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出について	原案可決
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書の提出について	原案可決
介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を国へ求める意見書の提出について	原案可決
18歳までの医療費窓口負担の無料化を国の制度として実施を求める意見書の提出について	原案可決
小・中学校給食費の無償化について国の制度として実施を求める意見書の提出について	原案可決
◇陳情	審査結果
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情	採択
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情	採択
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	不採択
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情	採択
「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情	採択
「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情	採択
地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情	不採択

問 答

かづの厚生病院の医師確保と病院の維持について、今後市としてどのように対応していくか。経営は厳しい状況にあるが、市内の中核病院としての機能が維持されるよう財政支援や非常勤医師の招へい費用に対する支援を行っていく。



農業政策について

問

農地中間管理機構を介した促進計画の利点だけを見れば、早急な耕作放棄地解消に結び付くと思うが、何年を目途に遊休農地を解消できると考えているのか。

答

条件の良い農地の利用が進む一方、耕作不便などの場合は、受け手を見つけることが困難となっていることや、農地の管理状況が毎年変化することから解消にかかる年数の目途を示すことは難しい。

問

しかし、地域の実情が反映された地域計画に基づき、農用地の活用が図られるよう取り組みでいく。

圃場整備事業の進捗状況は計画通り進められているか。

答

毛馬内北部地区において、来年度からはハード整備に移行する予定で、令和11年度の完成に向け計画通りに進んでいる。また新規に事業採択を要望している柴内地区、神田地区、道下地区、間瀬川地区においては地元農家の仮同意を得ながら、土地調査及び権利者調査を実施しているが、相続登記の遅れにより予定を1年先送りとしている。

質問した項目

- 本市の医療体制について
- 種苗交換会について
- 空き家対策について
- ゴミの減量化3Rについて
- 河道の整備について
- 市営住宅について
- 農業政策について



録画配信はこちらから

金澤 大輔 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分

問 答

毛馬内保育園前の道路は見通しが悪くグリーンベルトも消えている。安全対策はできないか。平成25年に保護者から要望があり、グリーンベルトを設置した。現在は、カーブミラーや注意看板を設置し、安全対策に努めている。



集落の対応と市町村合併について

問

人口が減少しているが、小坂町との合併を協議する時期ではないか。

答

それぞれの自治体が築き上げてきた歴史や文化を尊重すべきであるとの考えから、小坂町を含め、他の自治体との合併は考えていない。人口減少が進む中で、市や近隣市町村がそれぞれの魅力や価値を生かしながら共に発展していくためには、広域連携が極めて重要である。相互連携

質問した項目

- 保育園問題について
- 集落の対応と市町村合併について
- 各地区の消防団の予算措置について
- 八幡平地区の公共施設の避難場所について

八幡平地区の公共施設の避難場所について

問

八幡平地区の保育園、小学校、中学校、市民センターは米代川と熊沢川の合流地点にある。想定外の災害時には避難場所をどこに指定するのか。

答

避難所は災害の種類や規模等の状況を勘案して開設する。避難経路が確保されれば開設している他の避難所を利用してもらうが、状況によっては、建物の2階以上への垂直避難が有効な場合もあるため、情報に留意しつつ判断する。



録画配信はこちらから

浅石 昌敏 議員（誠心会）

質問時間 30分

問 市の除雪作業の委託先及び除雪機械等は十分な体制となっているか。

答 毎年5月中旬から委託業者へヒアリングを行い除雪計画を策定している。今年度も昨年度同様の体制を確保し、道路交通を維持していく。



**市内医療環境の充実とか
づの厚生病院の来春から
の小児科常勤医の確保に
向けた取り組みについて**

問 公約とは違う状況が続いているが、かづの厚生病院の小児科が非常勤体制となることへの対応は。

答 かづの厚生病院の小児科常勤医師の派遣中止により、鹿角地域で唯一の小児入院病床がなくなることは、本市の子育て環境に大きな影響が及ぶものと危惧している。今後関係機関に対し、小児科診療体制の維持への

要望を行うとともに、独自に小児科医師確保に向けた取り組みを行うなど、小児科病床の継続に向け可能な限り努力していく。

観光産業の強化・振興について

問 八幡平温泉郷の入口に倒壊したままのホテルが見受けられるが、景観向上のため対処すべきではないか。

答 現在も所有権は破産手続きを終了した事業者にある。直ちに周囲に被害を及ぼす状況になく緊急性がないことから、行政代執行には課題があるほか、解体についても、費用の回収目途が立たないことから実現には至っていない。

質問した項目

- 人口減少に対する歯止め対策と、働く場所の確保への取り組みについて
- 市民にやさしい除雪事業について
- 市内医療環境の充実とかづの厚生病院の来春からの小児科常勤医の確保に向けた取り組みについて
- 観光産業の強化・振興について



録画配信はこちらから

黒澤 一夫 議員 (鹿山会)

質問時間 30分

問 財政調整基金を取り崩しなお2年連続の赤字だが、次年度は独自政策には取り組みめないのか。

答 一般財源の確保が難しい分を財政調整基金に依存し2年連続の赤字となっている。各種事業については選択と集中により施策を進めていく。



鹿角市の財政と次年度施策への影響について

問 小坂町を貧乏という県から、鹿角市は貧乏と見られているのか。

答 最新の財政力指数では小坂町は0.37、鹿角市は0.32であり、いずれも県内市町村の平均である0.30を上回るが、この指数による比較では本市の方が低い水準にある。

風力発電事業について

問 9月定例会一般質問での市長の風力発電事業受け入れの利点についての説明、計

画段階環境配慮書への市の意見書等から、市が受け入れを決定しているように受け取れるかどうか。また、今後の対応は。

答 事業実施には住民の理解が重要である。次の段階となる方法書の作成や、環境影響評価実施後の準備書の作成時点で住民説明会が実施されることから、分かりやすい資料を用い、丁寧な説明を行うよう事業者へ要請する。

また、市は制度上の手続きの中で、事業計画に対する意見を述べることを求められているが事業可否を決定する立場になく、市が事業の受け入れを決めているものではない。



録画配信はこちらから

問 鹿角高校について支援体制を整え、全国から入学者を呼び込む施策ができないか。

答 鹿角高等学校支援協議会では高校の魅力を高める取り組みの強化で、生徒の成長を促すとともに地域の振興と発展を目指していく。



鹿角高校について

問 勉強意欲の向上や悩み事の改善等のために、メタバース上でオンラインの学び場のシステムを導入し、無料提供できないか。

答 オンラインの学び場の提供は、地域の教育機会を拡充するための有効な手段と考えているが、生徒のニーズに応じた内容を検討し、鹿角キャンパス構想との連携も意識しながら可能性を探っていく。

家庭ごみの資源化などについて

問 ごみの資源化には相当の費用と労力がかかるが、今後資源化を進めていく中で家庭ごみ収集の有料化はあるのか。

答 市民に必要な公共サービスという観点から、家庭ごみの定期収集については手数料を徴収しないことにしてきたが、廃プラスチックの分別収集の実施や大館市とのごみ処理の広域化に向けた可能性を検討しており、状況の変化も踏まえながら有料化について慎重に検討していく。

質問した項目

- 鹿角高校について
- 家庭ごみの資源化などについて
- 感染症対策について
- 経済対策について



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問 花輪線の利用促進でサイクルトレインの実証実験を行ったが、今後どのように結び付けるのか。

答 自転車を活用した観光「サイクルツーリズム」のモデルコースを提案するなど花輪線利用促進協議会で検討していく。



地域医療について

問 来年からかづの厚生病院の小児科へ常勤医の派遣と入院の受け入れが中止となる。要望継続をしていくとしているが、見込みは。

答 継続には、常勤医の負担軽減や患者の増加が必要不可欠であり、常勤医派遣はハードルが高いと考える。しかし、子育て支援の充実や移住・定住促進に大きな影響があると危惧しているため、小坂町と共に入院病床維持に全力で取り組んでいく。

中学校部活動の地域移行について

問 今年度からソフトテニス、卓球、吹奏楽の地域移行のモデル事業が行われているが、現段階での課題は。

答 スポーツ関係では、基礎練習や試合形式の練習を行っており、内容の充実や生徒の面的成長を期待する意見が多く、今後の指導の在り方にいかしたい。吹奏楽では、楽器講習会を実施し、外部の専門家を招聘し技術の向上には有効であったが、費用が高額で継続的な開催は困難なこと、楽器の運搬などの移動の負担が課題となった。



録画配信はこちらから

成田 哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分

質問した項目

- 花輪線の利用促進について
- 地域医療について
- 鹿角高校の支援について
- 中学校部活動の地域移行について
- 移動期日前投票所の設置について

問 関市長の幹部職員に対するパワーハラの発言疑惑に関する報道の音声データへの見解は。

答 市議会本会議において市長の了解なしの答弁を行っており、このような前例がないことから是正するよう厳しく指示したものである。



問 関市政のこれまでの成果と今後の見通しについて

問 関市政の3年間に
おいて、市長が成
し遂げた主な成果は何
か。

答 経済の持続的な発
展と若い人たちの
夢と希望のかなう市政
の実現に向け、一歩ず
つ前進させてきた。特
に「市民との対話と透
明な市政の確立」や「国
や県、隣接市町村との
連携回復」、「品格と
風格のあるまちづく
り」に力を入れ、大き
く前進したものと捉え
ている。

パワーハラスメントにつ
いて

問 職場環境や組織全
体、職員の心身に
与える影響について、
市長の認識は。

答 パワーハラスメン
トは被害者に対し、
精神や健康の状態で支
障を及ぼし、休職や退
職に至らせる可能性が
ある人権侵害であると
ともに、職員の勤労意
欲を低下させ、能力の
発揮を阻害するだけで
なく、職場の秩序や業
務の円滑な遂行に支障
を及ぼすほか、組織と
しての社会的信用の低
下を招くものと認識し
ている。

質問した項目

- 関市政のこれまでの成果と今後の見通しについて
- パワーハラスメントについて



録画配信はこちらから

戸田 芳孝 議員（鹿山会）

質問時間 30分

問 第7次総合戦略で令和12年度の中核病院の常勤
医数目標の25人の根拠は。（令和元年度実績19
人、令和4年度実績17人）

答 平成22年のかづの厚生病院開院時の常勤医師の
計画数を目値として設定したものである。



鹿角市の医療体制とダウ
ンサイジングについて

質問した項目

- 鹿角市の医療体制とダウンサイジングについて
- 公共施設のダウンサイジングについて
- 鹿角市の「消滅可能性」回避について
- 義務教育における不登校児童への対応について

問 来年度からの厚生
病院小児科常勤医
派遣中止により病児保
育室への影響は。

答 常勤医派遣取りや
めの影響はない。

問 産婦人科や小児科
の最低限の維持水
準について、市の基準
はあるか。

答 2つの診療科を維
持していく基準は
ない。県・市・小坂町
で財政支援を続け、可
能な限り維持を図る。

問 更なる廃止縮小圧
力の中、医療体制

の縮小速度抑制や補完
体制構築が最優先であ
り、市長公約の産婦人
科分娩再開は現実的で
はないのでは。

答 簡単には解決でき
ない状況だが、医
師確保に必要な財源・
人材・施設について要
望を継続するなど、引
き続き、粘り強く取り
組んでいく。

問 公共施設のダウンサイ
ジングについて

答 市の計画では15年
間で総量と運営費
の各7・5%ほど縮減
が目標だが、最新縮減
進捗率と運営費用は。

答 総量は基準値の平
成29年度と比べ令
和4年度で約4%減、
管理運営費は令和5年
度で約13億円である。
※平成26年度は約9・4億円



録画配信はこちらから

問

花輪線利用促進の観点から、市職員の出張時に花輪線を利用するよう指示を出してはいいかがか。

答

出張時の交通手段については、経済的かつ合理的な経路の選択を原則としている。



特殊詐欺への対応について

問

本市における被害防止の取り組みは。

答

特殊詐欺等の犯罪は、鹿角警察署を中心に対応が進められており、市では消費生活相談の一環として取り組みを行っている。消費生活センターの

前講座において、インターネットによる消費トラブルと合わせて注意喚起を行っている。また、特殊詐欺被害と思われる相談があった場合は、鹿角警察署への相談につなげている。

問

市民やその子供が犯罪に関与しないよう、どのように対策を進めていくのか。

答

出前講座の実施や、各種イベント等を通じた啓発用チラシの配付、ホームページやメール配信サービスを活用した周知、啓発活動を行っている。学校現場においては、SNSについての危険性の確認や、トラブルを防止するための指導等を行っている。また、市内の高校生を対象に特殊詐欺を含む消費者教育を実施しているほか、二十歳のつどいの案内に啓発用パンフレットを同封し、注意喚起を行っている。

質問した項目

- 特殊詐欺への対応について
- 「103万円の壁」見直しによる本市への影響について
- 聴覚障害者への行政窓口での支援について
- JR花輪線存続への支援について
- 保育等に関する申請の電子化について



録画配信はこちらから

館花 一仁 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分

問

小中学校のエアコン未設置の特別教室に早急に空調環境を整備する必要があるのでは。現在はトイレ洋式化などに取り組んでおり、今後児童生徒のより良い教育環境の整備に向けて優先順位を検討し、計画的に進めていく。

答

実に努めていく。



教育環境について

問

県の小中学校の不登校者数が過去最高となった。一人も取り残すことのない体制づくりのために、居場所や学びの場の確保・スクールカウンセラー等の増員など、多種多様な整備が求められているが、市の考えは。

答

関係機関と連携し、現在策定中の「こども計画」に搭載される各種支援施策を推進しながら、子供たちを支える相談体制の確保や家庭への働きかけなど、一層の支援充

問

歯科医院の減少が便性も低下し、歯科医の負担も急速に増え、悲痛の声が聞かれる。他の医療体制維持への支援と同様に、スタッフの確保・新規開業などへの計画的な支援を急速に進める必要があるのでは。

答

高齢者を中心に疾病を予防し、生活の質を保つ上で歯と口腔の健康が重要である。第7次総合計画後期基本計画を策定する中で、医療機関開設資金支援事業制度の補助対象に歯科診療所の開設や医療継承の追加を検討するなど取り組んでいく。

質問した項目

- 教育環境について
- 医療環境について
- 企業支援について



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

[議案第68号] 鹿角市債権管理条例の制定について

問 今年度条例を制定する理由は。

答 数年前から検討していたが、現状における債権管理上の課題を踏まえ、実質的徴収できない債権について放棄できる規定等を整備し、今回統一的な対応で体制を整えることとした。

[議案第75号] 鹿角市ハラスメント防止に関する条例の制定について

問 条例中にある「相談員」について、相談員同士の情報共有や相談後の流れは。

答 様々な相談者を想定し、7名の相談員を考えているが、相談員同士で情報を共有することは考えていない。相談後の流れについては、職員同士の場合は相談員による解決や、相談員からのハラスメント対策委員会に申し出がなされ、事実認定及び問題解決のための必要な措置について審査するが、特別職の場合は最終的な審査は、外部委員3人以内によるハラスメント審査会で審査し、事実があれば公表することができるとしている。

[6陳情第12号] 「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情

「願意妥当と認め、採択とすべき」との意見や「国でも議論がまとまっていない内容であることから趣旨採択とすべき」との意見が出され、採決の結果、採択すべきものと決定した。

福 福祉医療費受給者証	
対象区分及び 負担者番号	
受給者番号	
居住地	
氏名	
生年月日	年 月 日

福祉医療費受給者証(通称 マル福)

[議案第70号] 令和6年度鹿角市一般会計補正予算(第9号)

問 (農業用施設整備工事費) 令和4年8月の大雨により被災した箇所の追加工事費を増額することだが、その原因は。

答 永田根瀬地区の頭首工復旧工事について、被災から2年が経過し着工までの間に土砂流出による河床低下が進んだことにより、新たに盛土工事が必要となったもの。

問 (商工振興費)「産業人材育成支援事業費補助金」の増額についてどのような資格取得等の申請が多いか。

答 資格取得等の種類としては、フォークリフト運転技能講習受講や中型自動車免許取得等、運転技能に係る資格取得が多くなっている。

問 (観光振興費)「大館能代空港利用促進助成金」の増額について、好評である理由をどのように分析しているか。

答 大館能代空港と羽田空港間の1日3便化により、ビジネスシーンでも利用しやすい環境となったこと、また、本助成制度についての市民の周知が進んだことが主な理由であると分析している。

問 (交通安全施設費) 新規街灯設置の要望がなかなか認められない理由は。

答 新規の設置要望については「街灯設置委員会」において設置の可否を判断することとしているが、既に令和7年度までの設置箇所を決定していることから、さらなる新規の要望については今後の委員会で検討する。

決算特別委員会（湯瀬誠喜委員長）を令和6年10月7日及び8日の2日間開催し、令和5年度決算について詳細な審査を行いました。

認定案件4件を審査した結果、いずれも認定すべきものと決しました。

一般会計（歳入）

質問 平成24年度からの実質単年度収支の推移は。

答弁 平成24年度から平成27年度については、平成25年度を除き実質単年度収支はプラスとなっており、平成28年度以降については、令和元年度から令和3年度を除いた年度は一般財源の不足から、財政調整基金からの取り崩しを行い、実質単年度収支はマイナスとなっている。

今後も財政調整基金からの取り崩しに頼らざるを得ない状況が続くことが推測される。

質問 歳入を増やす施策は。

答弁 移住定住関係の事業や企業誘致に伴う税収の増額、インフラ整備等に伴う使用料の見直し等を含め、市民

に負担をかけない手法を模索し、いろいろな観点から歳入の増額に努めていく。

一般会計（歳出）

質問 若者世代ふるさとネットワーク構築事業の具体的な成果は。

答弁 本事業を通じてU25の会員7名が本市に転入している。また、SNSで本市の情報共有し、首都圏で会員を対象とした交流会を開催して鹿角とのつながりや情報を交換し合い、ネットワークを構築している。

質問 デジタル行政推進アドバタイザー業務委託料における業務の具体的な内容は。

答弁 業務改革の実施に対する支援並びに情報セキュリティ対策に対する支援が主な内容である。情報セキュリティ対策については、職員向けの情報セキュリティ研修の実施やセキュリティ対策の状況調査、情報資産の管理及びリスク評価を行っている。

質問 自主防災組織育成事業の組織数とカバー率、共助のための政策は。

答弁 令和5年度末で94組織、カバー率62%となっている。単独で防災組織を結成するのが難しい自治会もあるが、複数の自治会で組織を立ち上げた場合でも資機材の整備に補助制度が利用できることから、出前講座や自主防災会議などで周知を図っていく。

質問 空き家等適正管理推進事業で昨年度に行った空き家実態調査の結果は。

答弁 調査は5年に1度現地調査を行っているもので、空き家台帳や固定資産課税台帳等から住家1637件を対象に調査を行った結果、空き家判定は1377件で、前回調査時より1・4倍増加している。

質問 コンビニ等収納代行委託料について利用割合は。

答弁 昨年度の市民税関係の証明書の発行は2461件、うち162件がコンビニで取得している。市税の徴収方法についてはコンビニ納付のほ

か、窓口での納付書納付、口座振替、スマートフォンによる決済アプリ、パソコン等による共通納税システムによる納付が可能であるが、コンビニ納付については収入金額の構成割合で7・71%となっている。

質問 権利擁護推進事業について、令和5年度における相談件数及び成年後見制度の利用につながった件数は。

答弁 社会福祉協議会に委託している事業となるが、相談件数は39件となっている。そのうち申立支援まで結び付いた件数は14件、社会福祉協議会で受任した件数は6件となっている。



質問 医師確保対策事業で普通旅費や寄附金を支出するに当たり、業務の効果は。

答弁 現在、医師修学資金の貸与者が東京に2名、仙台市に1名いるが、その3名と面会を行っている。また、寄附講座は医療関係の職業を希望する方の気持ちを醸成する事業につながっているものと考えている。

質問 農地等小規模災害復旧支援事業（繰越明許費）が令和5年度に繰り越しとなった理由は。

答弁 当事業は令和4年8月の豪雨により被災した箇所ので、復旧費用40万円未満のものを対象とした補助制度であり、266件の申請があったが、工事業者における人手不足により、102件を令和5年度に繰り越している。

質問 道の駅おおゆ販売体制強化事業について補助金の効果は。

答弁 オリジナル商品の開発に
おいては、コンテストで入賞するなど効果が表れている。

る。産直品については令和4年度に對し、令和5年度は128%を売上げ、販売体制強化として十分機能している。

質問 部活動地域移行推進事業の進行状況は。

答弁 地域に部活動を移行する場合の課題や、移行するに当たり望ましい形の検討などを行っている。

モデル事業として、卓球部とソフトテニス部は鹿角市スポーツ協会に委託し、吹奏楽部は鹿角吹奏楽連盟と共催する形で実証を行っている。

質問 学校給食費の公会計化の現状は。

答弁 給食費の集金については、教材費や学校集金と合わせて学校で集金し、その後市の会計に納入する形となっている。

なお、賄材料費も市の予算から支出する形を取っていることから、一部公会計化という状況にはある。今後、保護者と密接に関わる学校を通じた集金方法が最も円滑に進むものと考えている。

質問 災害復旧費について、令和4年8月に発生した大雨による被害の復旧の現状とその対応は。

答弁 対象箇所55件のうち45件の工事が完成しており、残り10件については現在施工中であるが、令和6年度中に完成する予定である。

一般会計全体への意見

第7次総合計画前期基本計画の中間年となる各事業が展開され、その取り組みはおおむね計画通り進んでいるものと評価できる。

引き続き財政構造の改善を図りながら健全財政の堅持に努めるとともに、社会経済活動の活性化が見られた中で、物価高騰や甚大な自然災害の頻発、加速化する人口減少など、地域経済の縮小にもつながる深刻な課題もあることから、今後も経済情勢や国・県の動向を注視しながら、持続可能な地域社会に向けて挑戦していただきたい。

国民健康保険事業特別会計

質問 国民健康保険税における収入未済額について、滞納の原因をどのように分析しているか。

答弁 滞納整理については、納税指導・分割納付・差押に努めているが、経営不振による自営業者の滞納や慢性的な生活困窮等による未納が多い状況である。財産調査を急ぎ、滞納処分判断を進め収入未済額等の圧縮に努める。

介護保険事業特別会計

質問 認知症地域支援・ケア向上事業について、認知症支援推進員の配置状況は。

答弁 認知症地域支援推進員には介護支援専門員等の資格を保有する者を配置しており、あんしん長寿課に1人、各地域の包括支援センターに1人ずつ配置し、計5人で相談業務等を行っている。

令和6年度第2回 「市民と語る会」

去る11月28日（木）
花輪市民センター講堂
（コモッセ内）を会場
に、今年度2回目とな
る市民と語る会を開催
しました。

今回は「5月14日「市

民と語る会」のその後
について」と「市議会
議員のパワーハラスメ
ントについて」の二つ
をテーマとして開催し、
「かづの九条の会」等
から29名、市議会から
は各会派から1名ずつ
の4名（栗山尚記議員
・成田哲男議員・戸田
芳孝議員・笹本真司議
員）と金澤広報委員長
の5名が参加し、意見
交換を行いました。

「5月14日「市民と
語る会」のその後につ
いて」では話し合われ
た議題についてその後
に議員間での情報共有
及び話し合いがあった
のか、実際に意見交換
した内容は議会活動に
生かされているのかな

どの質問が出されたほ
か、今後の市民と語る
会の開催方法の検討状
況等についての質問が
出されました。

また、議会だよりの
記事について、表現が
変えられているとの意
見も出されています。

「市議会議員のパワ
ーハラスメントについ
て」では、市議会とし
て職員へ対するパワー
ハラスメント調査を行
わないと議会運営委員
会で決定したことにつ
いて調査を行わない理
由や各議員のアンケー
ト調査実施に対しての
是非、会派の会則の有
無についての質問が出
されたほか、意見とし
て、「3月までで結論
が出せるか不安だとい
うことであれば、4月
以降にやって結論を出
してほしい」、「そも
そも調査を行う行わな
いの判断は多数決で決
められる性質のものか
疑問」などが出されま
した。

また、「議員ひとり
ひとりの意見を伺いた
いため、市民に見える
形で公表してほしい」
との要望が出され、広
報委員会に持ち帰り検
討した後、議会運営委
員会を経て、全員協議
会による協議の結果、
全議員に対しアンケー
トを実施し、公表する
ことを決定しました。

アンケートの結果は
市ホームページで公表
しています。

下記QRコードから
アンケートページへ
アクセスできます。



※当日の様子について
は市ホームページに掲
載しています。左のQ
Rコードからもアクセ
ス可能です。



〈議会だより122号の掲
載内容についての訂正とお
詫び〉

令和6年11月1日発行の
ぎかいだより122号につ
きまして、一部掲載内容に
誤りがありましたので、訂
正し、お詫びいたします。
今後は、制作過程におけ
る広報委員会内でのチェッ
ク体制をより一層強化し、
編集いたします。

・訂正箇所 ぎかいだより
122号 10ページ（2段
目）議会報告会開催報告「
■会場で出された主な意見
・要望等■」内

・訂正前 ◇職員調査でパ
ワハラ的発言があったとの
記述があった。職員を守る
ためにもしっかりと調査し
、市長と（後略）

・訂正後 ◇職員調査でパ
ワハラ的発言があったとの
記述があった。しっかりと
調査し、市長と（後略）

編集後記

市議会議員の改選期も近
づき、議会広報委員として
の職務も残りわずかとなり
ました。最近は何かと「ハ
ラスメント」という言葉が
話題になりますが、時代の
変化と共にその受け止め方
も多種多様化してきており
ます。普段からのコミュニ
ケーションの取り方、そし
て古い考えではなく時代に
合った対話をすることが大
切と感じます。

また、「市民と語る会」
などの開催を通して様々な
意見や質問を頂き、市民の
皆様の声を真摯に受け止め
ながら議員活動ができるこ
とに感謝を申し上げます。
（湯瀬弘充）

議会広報委員会

委員長	金澤	大輔
副委員長	湯瀬	弘充
委員	浅石	昌敏
	湯瀬	誠喜
	笹本	真司